

単元名 書き表し方を工夫して、経験と考えを伝えよう

配当時間 6時間

単元の目標 (1) 語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。
 (2) 目的や意図に応じて書くとともに、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
 (3) 座右の銘に対する認識を深めるとともに、書き表し方を工夫しようとする。

標準的な展開例

06010216_001

【教材名】大切にしたい言葉 (P. 176～P. 180)

【準備等】知多の友、原稿用紙

| 学 習 活 動 | 留 意 事 項 など |
|---|---|
| <p>1 学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ★これまでに会った大切にしたい言葉を考えよう。 ○「座右の銘」について知り、学習の計画を立てる。</p> <p>○これまでに会った忘れられない言葉を知多の友 (P. 45) に書き出す ・だれかに言われた言葉 ・本や新聞などで読んだ言葉 ・テレビやラジオ、映画などで見聞きした言葉 ・好きな歌の歌詞 など</p> <p>2 座右の銘にしたい言葉を決める。 ○選んだ言葉とそれに結び付く経験、大切にしたい理由を知多の友 (P. 46) に書く。</p> <p>3～5 文章構成を考え、内容の順序を考えたり、工夫したりして書く。 ○「初め・中・終わり」にそれぞれ何を書くか、教科書 (P. 177) を参考にして、知多の友 (P. 46) の組み立てメモにまとめる。 ○文章構成の工夫を考える。 ・経験や見聞きした事実 ・自分にとっての意味 など ○読む人に分かりやすくなるように、具体的な表現を取り入れて書く。 ・読み手を引きつける書き出し ・具体的に書くこと ・印象に残った事実とそのときに考えたことや感じたこと ・自分にとって、その出来事の意味 など ○読み合い、推敲する。 ・詳しく書くとよいところや、自分の考えを表すのにふさわしい言葉を吟味する。 ○書き表し方を工夫して清書する。</p> <p>6 読み合って感想を伝え、学習を振り返る。 ○心を動かされた内容や表現について伝え合う。</p> <p>○「ふりかえろう」で単元の学びを振り返る。 ・読み手に伝わるように工夫した書き方 ・まねしてみたい表現の工夫</p> | <p>・本単元は「知多の友」に掲載されているので十分に活用したい。 ・「座右の銘」とは何かを知らせ、6年間で出会った大切にしたい言葉を思い出させる。 ・「これまでに会った忘れられない言葉」を題材として、経験と結び付けて文章を書くことを知らせる。 ・知多の友 (P. 45) を活用する。</p> <p>・知多の友 (P. 46) を活用する。 ・座右の銘にしたい言葉、出会ったときのこと大切にしたい理由を思い出させる。 【評】書く題材を見付ける活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・知多の友 (P. 46) を活用する。 ・出来事の順序や書き出しの工夫についても確認させる。 ・具体的な表現を心がけさせ、読む人がよく分かるようにさせる。</p> <p>・書き始めに苦労している児童には、書き出しのパターンをいくつか提示するとよい。 ・組み立てメモを参考にして、知多の友 (P. 47～50) に下書きさせる。 【評】目的や意図に応じて、伝えたいことが明確になるように工夫して書く活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・友達と読み合い、書き直した方がいいところを赤字で書かせる。</p> <p>・清書には、原稿用紙を使うとよい。 【評】語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・書き出しの工夫や比喻表現を見付けて友達の作品のよさについて気付かせる。 ・知多の友 (P. 51) を活用する。 ・自分の文章を振り返って、まとめさせる。</p> |

【 備 考 】